

環境会計ガイドライン(2002年版)及び 環境会計ガイドブック(2002年版)の構成(案)

ガイドブックの構成(章立てとしての名称は現時点では仮称であり、本検討会で審議)

環境会計ガイドブック (2002年版)	導入部	
	環境省環境会計ガイドライン 改訂検討会・2002年報告	環境会計ガイドライン(2002年版)
	Q and A 編	
	資料編	事例編(テーマ別)
		最新動向
	用語解説	

ガイドラインの構成

構 成
環境会計ガイドラインの改訂にあたって
(1) 環境会計ガイドラインの公表と改訂の経緯
(2) 環境会計ガイドラインの目的
(3) 環境会計ガイドライン改訂にあたっての基本的考え方
(4) 環境会計ガイドライン改訂の要点
(5) 今後の課題
はじめに
(1) 環境会計に取り組む背景
(2) 環境会計の必要性
(3) 本ガイドラインで取り扱う環境会計
1. 環境会計とは
1.1 環境会計の定義
1.2 環境会計の機能と役割
(1) 内部機能 (2) 外部機能
1.3 環境会計の一般的要件
(1) 目的適合性 (2) 信頼性 (3) 明瞭性 (4) 比較可能性
1.4 環境会計の構成要素
(1) 環境保全コスト (2) 環境保全効果 (3) 環境保全対策に伴う経済効果
2. 環境会計の基本事項
2.1 環境会計において基本となる重要な事項
2.2 対象期間と集計範囲
(1) 対象期間 (2) 集計範囲
3. コスト及び効果の算定
3.1 環境保全コスト
3.1.1 環境保全コストの内容
(1) 投資額及び費用額 (2) 目的基準
3.1.2 環境保全コストの分類
(1) 事業エリア内コスト (2) 上・下流コスト (3) 管理活動コスト (4) 研究開発コスト (5) 社会活動コスト (6) 環境損傷対応コスト (7) その他環境保全に関連するコスト
3.1.3 環境保全コストの集計方法
3.2 環境保全効果

構 成
3.2.1 環境保全効果の区分
3.2.2 環境保全効果の表現方法
3.2.3 環境保全効果の算定方法
3.3 環境保全対策に伴う経済効果
3.3.1 環境保全対策に伴う経済効果の内容
(1) 実質的效果 (2) 推定的効果
3.3.2 環境保全対策に伴う経済効果の算定方法
4 . 環境会計情報の開示
4.1 環境会計の開示における記載事項
(1) 環境会計の目的 (2) 環境会計の集計にあたっての前提条件 (3) 環境会計の集計結果 (4) 環境会計の集計にあたっての算定基準 (5) 環境会計の集計結果に対する説明 (6) 環境報告書の他の項目との関連
4.2 環境会計公表用フォーマット
(1) 環境保全コスト主体型：公表用 A 表 (2) 環境保全効果対比型：公表用 B 表 (3) 総合的效果対比型：公表用 C 表
環境会計ガイドライン 解説 (本文の該当箇所に記載)

網掛け は、ガイドライン本文を示す。

本 文：方針を示した部分

解 説：方針を理解するために必要な重要事項についての解説

Q & A：方針の理解を助けるためのより具体的な説明

取 組 事 例：方針を理解するための実務上の事例

用 語 解 説：環境会計に関する用語の理解を助けるための解説